

Oh! PC2月号

オリジナルプログラムコンテスト審査結果発表

今月はいつもより多くの投稿が寄せられたが、内容的に飛び抜けた作品はなく、いずれも候補作にとどまった。しかし、身近な題材を選んでプログラムしていくというのはパソコン本来の使い方ということもできるし、よい傾向である。簡単なプログラムでよいので、今後もしどしどし投稿してほしい。

候補作

PC-9801 MS-DOS N₈₈-BASIC

アパート管理

坂田光幸

アパート経営者向けのアパート管理プログラムである。毎月の家賃、光熱費、そのほかのデータを管理できる。

自分で使うだけでなく不特定多数の人が操作することを考えたため、プログラムには気を使ったようだ。しかし、データ入力途中でキャンセルができないなど、操作面では十分完成されているとはいえない。機能面は十分と思う。

候補作

PC-9801 N₈₈-BASIC

BASICプログラムローダ

郡司島 渉

ディスクに保存されているBASICプログラムを一覧表示しカーソル移動でファイルを選択するだけで、読み込みあるいは実行させることができるツール。よく見かけるツールだが、それだけ便利ということだ。

候補作

PC-8801 N₈₈-BASIC

家計簿

水登浩行

カーソル移動によるメニュー選択を全面的に使い、カーソルキーとテンキーの操作だけですべてが行える家計簿ソフトである。

かなりうまく作っており、操作性は非常によい。プログラミングのほうも素直に作られており、問題なし。

候補作

PC-8801 N₈₈-BASIC+マシン語

ディスクエディタ

船渡雄一

リアルタイムチェックサム表示機能付きフルスクリーンエディタのディスクエディタ。ディスクのセクタの内容を直接書き換えることができる。

一般には必要のないツールだが、誤って削除してしまったファイルや、トラブルで壊れたファイルを再生する場合に便利である。プログラムはなかなかよくできている。

候補作

PC-8801 マシン語

インタリーブ リフォーマット

高井徳男

高井さんのPC-8801のディスクにインタリーブフォーマットをかけるプログラムはすでに誌上発表したが、今回のものはそのアップバージョン。現在使

っているディスクのデータやプログラムは、そのままインタリーブだけをかけてるようにしたものだ。

ただし、万一処理中にエラーが発生した場合、大切なディスクがだめになってしまうことも考えられるので、新しくインタリーブフォーマットをしたディスクにコピーするほうが安全であろう。

高井さんのプログラムは、STOPキーでいつでも上位モードに戻ることができ、ドライブノットレディのチェックも行うなどいつもながら完成度が高い。

候補作

PC-9801 MS-DOS Cコンパイラ

ファイルセクタ

広山雅明

MS-DOSの拡張ユーティリティ。SHIFT-CTRLキーを押すと、画面が切り替わって指定ドライブのディレクトリ一覧が表示される。必要なファイルにカーソルを合わせてRETURNキーを押すと、画面は元に戻り、選んだファイル名がコマンドラインのカーソル位置に表示される。

色々なコマンドを使うときに、いちいちファイル名をタイプする必要がなく、非常に便利といえる。

候補作

PC-88VA N₈₈-BASIC V3

モノクロ画面コピー

橋本典男

88VAの640×400ドットのモノクロ画面をSTARのAR-2410プリンタにハードコピーするプログラム。

マウスで指定して部分的に印刷することもでき、標準サイズのほかに縮小、拡大印刷も可能。機能的にはよいのだが、NECのPC-PR系のプリンタにも対応させてほしい。

プログラミング的には、よいセンスを持っているとみた。

候補作

PC-9801 N₈₈-BASIC

カレンダーメニュー

佐藤浩治

カレンダーとメニューを一体化したプログラム。カレンダー表示のほか、プログラムを起動することができる。

このプログラムから、ほかのプログラムに対して、元号、曜日、祭日データを引き渡せるのも特徴だ。

カレンダー表示画面はちよつと普通すぎて面白くないが、世界時計の画面は渋い中間色と4分の1角文字を使って、ハイセンスに仕上がっていて感心した。

編集後記

■最近、ココム問題に興味を持っていろいろと調べているのだが、その不透明さには呆れるばかり。パソコンは8ビットなら輸出が許可され、16ビットは禁止という。どうにも不可解な境界線だ。コンピュータを新たなコミュニケーション・ツールと考える人間にとって、いつかは直面せざるをえない問題になるはずだ。とにかく、政府のその場しのぎの対応策には腹のたつ今日この頃である。(紳)
■事あるたびにミーハーではないと念を押しているのに、迷惑なことに最近アイドルのポスターやらカレンダーやらを私のためにわざわざ持参してくる人が多い。全く有り難いことである。とはい

え、当編集部に来て一番楽しみにしていたさいとうさんグッズは全く手に入らない。皆無である。悲しいことである。実に悲しいことである。ああ悲しい。今年はやい年でありますように！ (7)
■友人達が次々に新車を購入しています。それがまたニュートレノだったり、RX-7だったりして、「なんでこいつらこんなものが買えるのだろう」と思うのですが、よくよく考えるとブレーキになっているのは首都圏の土地事情でした。なにしろ道は混んでいるし、駐車場代は高い。バイクならともかく、車にはなかなか踏み切れません。いい訳っぽいけど土地問題はちょっとね…。(MANZ)

■このあいだNHKで盲導犬サーブのドキュメンタリー番組(アニメーション)を見た。初めは、本を読みながら「ながら」でチラ見していた。が、ぐいぐいと魅せられていった。わずか30分の番組であったが、感動させ、かつ考えさせる内容をもっていた。アニメーションは、実写では出来ない作品を創ることが出来る。画面の中のサーブは本物以上に実在感があつた。(KEN)
■あけましておめでとうございませう。今年の計画はもう立てたでしょうか？ 本年も皆さんにとってよい年でありますようお祈り致します。パソコンの世界もMS-DOSからOS/2へとパトタッチ、新

しい時代へと突入です。昨年にも増して面白くなりそうですね。スタッフは今年も全開！ 皆さんに内容の濃いホットな情報をお届けすることを約束しましょう。今年もOh!PCを宜しく！ (芳)
■ビデオというメディアがごく日常的なものとなり、パソコンソフトのビデオマニュアルも花盛りである。ところで、このところ一昔前の家具調テレビが粗大ゴミとして出されているのをよく見かける。ハイビジョンが普及し始めると、いまでも売れている大型モニタが当然のごとくじゃまになる。まだ使えるAVテレビがポコポコ捨てられる姿を想像し、思わずぞっとしてしまった。(K)